







 この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起 こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求され ることがあります。

本機をRISO ORPHIS HC5500に接続すると、システム全体としてはクラスA対応になります。

注意

安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 お読みになったあとは、いつでも取り出せるように所定の場所に 保管してください。 このたびは、本機をご採用いただき、まことにありがとうございます。 本機はネットワーク対応可能で、コピー用途に活用できる高速スキャナです。大型タッチパネル ディスプレイで操作することにより、原稿のコピーやプリンタのモニタリングなどさまざまな機能 を利用することができます。

取扱説明書の記述内容について

ご注意

- 1) 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは固くお断りいたします。
- 2) 本書の内容につきましては、商品の改良等のため、将来予告なしに変更する場合がございます。
- 3) 本書および本機を運用した結果の影響につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社製プリンタおよびプリンタドライバの操作および安全上のご注意につきましては、プリン タに付属のユーザーズマニュアルをご参照ください。
- 5) タッチパネルディスプレイの操作や設定方法につきましては、タッチパネルディスプレイのへ ルプをご参照ください。

商標について

本書に記載されている製品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。 © コピーライト 2005 理想科学工業株式会社

本書の読みかた

操作説明の表記



▲ 警告、▲ 注意 は安全上の注意です。ご使用前に必ずお読みください。

安全上のご注意

ここでは本機を設置する場所や電源に関する注意など、ご使用前に必ず知っておいていただきたい ことを記述しています。必ずお読みください。

警告表示/絵表示

本機を正しくお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防止するため、以下のよう な警告表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可 能性が想定される内容を説明しています。
<u> </u>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定 される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

絵表示の例



設置場所

<u>/</u>\注意

- 傾いた所や不安定な場所に置かないでください。 傾いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 他の機械の振動が伝わるところなど、振動しがちな場所には設置しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
 火災、感電の原因となることがあります。

電源の接続

- 電源 90 ~ 100V の範囲内で、電流 6A 以上の電源をご使用ください。火災、感電のおそれが あります。
- 分岐コンセントのご使用、タコ足配線はおやめください。延長コードが必要なとき は、125V/12A 以上の規格のケーブルを使用し、5m 以上延長しないようにしてく ださい。火災、感電のおそれがあります。
- ●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いもの をのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電 のおそれがあります。
- ●同梱されている電源コードは本機専用です。他の電気製品には使用しないでください。火災、 感電のおそれがあります。
- ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

∕∖∖注意

- プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災、感電の 原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ●連休などで長期間、本機をご使用にならない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃の周辺部分を清掃してください。 ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

取り扱い

<u>小警告</u>

- ●本機の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、本機の内部 に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
- ●本機のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ●本機のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- ●本機を分解したり改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ●万一、発熱していたり、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。
- ●万一、異物が本機の内部に入った場合はまず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。





<u>____</u>注意

●本機を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。けがの原因になることがあります。

ご使用の前に

本機を使用するときに注意していただきたいことを説明します。

設置場所

以下のことに注意してください。

- ●設置場所につきましては、納入時にお客様とご相談の上、決定させていただきます。
- ●本機を移動される場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。
- ●以下のような場所には設置しないでください。誤動作、故障、事故の原因となる場合がありま す。
 - ・ 直射日光のあたる場所や、窓際などの明るい場所(やむを得ない場合は、窓にカー テンなどを付けてください。)
 ・ 温度が急激に変化する場所



- ・高温多湿、低温少湿な場所
- ・ 火気、熱気のある場所や、クーラーなどの冷風、ストーブなどの温風、輻射熱などが直接あたる場所
- ・通気性、換気性の悪い場所
- ・ホコリの多い場所
- 振動の多い場所

使用する環境

- ●本機の水平度が以下の範囲内になる場所に設置してください。
 前後:3mm 以下
 左右:3mm 以下
 適正環境は以下の通りです。
 - 温度範囲:15~30℃

湿度範囲:40~70%(結露しないこと)





オートフィーダーにセットできる用紙

◎ 原稿サイズ

- 表: 100mm × 148mm(はがき)~ 297mm × 420mm(A3)/ 280mm × 432mm(レ ジャー)
- 裏: 128mm × 182mm(B6)~297mm × 420mm(A3)/280mm × 432mm(レジャー)

◎ 原稿の紙質

 $52g/m^2 \sim 128g/m^2$

◎ 積載可能枚数

セットする原稿の種類		最大積載枚数または最大積載高さ
用紙サイズ	紙質	
B4 未満 80g/m ² 以下		積載枚数 100 枚まで
	81g/m ² 以上	積載高さ 15mm 以下
	特殊用紙(*)	積載枚数約 40 枚もしくは積載高さ 6mm 以下
B4 以上	80g/m ² 以下	積載枚数 60 枚まで
	81g/m ² 以上	積載高さ 9mm 以下
	特殊用紙(*)	積載枚数約 24 枚もしくは積載高さ 3.5mm 以下

* 特殊用紙とは以下のような原稿です。これらの原稿は読み取りはできますが、紙づまりの 原因となったり、十分な品質のプリント結果が得られなかったりすることがあります。

- ・セロテープなどが貼り付けられている用紙
- ・アート紙やコート紙など、用紙表面が平滑な用紙
- ・透明度が高い(光の透過率が高い)用紙
- ・FAX やワープロ用の感熱紙
- ・表面の凹凸が大きい用紙
- ・修正液などで修正した用紙
- ・紙質が 40g/m² ~ 50 g/m²、129g/m² ~ 156 g/m²の用紙
- ・2 穴または3 穴があいている用紙
- ・開封直後でさばいていない用紙
- ・コピー直後の用紙
- ・郵政公社製はがき
- ・幅が 30mm 以上で、高さ 10mm 以下のカールまたは折れのある用紙

使用できない用紙

以下の用紙はオートフィーダーでは使用できません。原稿台ガラスにセットしてください。

- ・切り貼りした用紙
- ・しわや折れ曲がりの激しい用紙
- ・OHP フィルムやトレーシングペーパーなど、透明度が高い用紙
- ・のり付けされていたり、穴のあいている用紙
- ・基本仕様よりも薄い用紙
- ・基本仕様よりも厚い用紙
- ・破れていたり、先端がギザギザになっている用紙
- ・幅が 30mm 以下で、高さ 10mm 以上のカールまたは折れのある用紙

原稿台ガラスにセットできる用紙

◎ 原稿の重さ

10kg 未満

◎ 原稿の高さ

|書籍などを読み取るときは、ガラス面からの高さが 50mm 以下

原稿をきれいに読み取るためのコツ

本機は反射原稿(光を反射する原稿)を読み取るカラーイメージスキャナです。本機できれいに 原稿を読み取るためのコツをご紹介します。

- ・写真や印刷物など、表面が平滑な原稿を使用してください。
- 切り貼りした原稿など表面に凹凸のある原稿の場合、段差部分に影やにじみが生じることがあります。また、厚みのある原稿の場合も、にじみや影が生じることがあります。
- ・OHP シートは、背面に白い用紙を置くなどして原稿の文字や絵がハッキリと見られる状態に すれば読み取ることができます。
- ・紙厚が薄い原稿の場合は、裏面の画像や背面にある原稿の画像が映り込むことがあります。そ の場合は黒い用紙などを裏面に重ねると、読み取ることができます。
- ・フォントサイズは 5pt 以上にしてください。

プリントサイズについて

読み取り可能な最大サイズは 303mm × 432mm で す。 読み取られた原稿は、プリンタのメニュー設定「4.10 プリント領域」で設定されている余白が付加されて プリントされます。 原稿サイズがプリントする用紙より大きい場合、入 り切らない部分はカットされます。必要に応じて タッチパネルのスキャナ機能設定の「変倍」で、任 意の倍率に設定してください。



専有面積

原稿カバーを広げたりするための場所が必要になります。





本機の取り扱いについて

- ●動作中に電源スイッチを OFF にしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
- ●本機を移動させないでください。
- ●内部には精密部品や駆動機構部がありますので、取扱説明書に書かれていること以外は行わないでください。
- ●本機の上に重い物を載せたり、本機に強い衝撃を与えたりしないでください。
- 原稿カバーは静かに開け閉めしてください。
- 本機の電源スイッチを OFF にしてから再び電源スイッチを ON にするするときは、10 秒以上 間隔をあけてから行ってください。

プリントに関する注意

● 個人が利用する場合でも、自由に何でも複写してよいというわけではありません。特に、単に その印刷物を所有しているだけでも、法律的に罰せられる種類の印刷物がありますので、十分 ご注意ください。

次の文書は、法律で印刷を禁止されています。

- ・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券(たとえ「見本」の印があっても 複写することは禁じられています)
- ・外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
- ・未使用郵便切手、郵政公社製はがきの類で、政府の模造許可をとっていない場合
- ・ 政府発行の印紙、酒税法などで規定されている証紙類

関係法律

- ·通貨及証券模造取締法
- ・外国ニ於イテ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及ビ模造ニ関スル法律
- ·郵便切手類模造等取締法
- ·印紙等模造取締法
- •紙幣類似証券取締法
- 次のような複写はおやめください。
 - ・ 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などの、事業会社が業務 に使用する最低必要部数以外の複写
 - ・政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、 食券などの切符類の複写
 - ・書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、写真など著作権の対象となっているものの複写(個人的または家庭内、あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する場合以外、複写することを禁じられています。)

電源の接続

以下のことに注意してください。

● 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグはコンセントに確実に接続してくださ い。



●本機はコンセントの近くに設置してください。

第1章	スキャナの基本	5	 	1-1
各部	の名称		 	1-2
プリ	ントの準備をする		 	1-4
	原稿のセット		 	1-4
プリ	ント用紙のセット		 	1-6

第2章 スキャナの機能	2-1
タッチパネル画面	2-2
スキャナ機能設定画面	
[メイン] タブ	
[レイアウト] タブ	2-6
[イメージ] タブ	2-8
[排紙]タブ	2-10
モニタリング画面	2-13
ジョブマネージャー画面	2-14
その他の画面	2-15
設定画面	2-15
ヘルプ画面	2-15
WEB 画面	2-15

第3章	スキャナの操作	 	 •••	 • •	 	 	 	.3-	
コピ・	ーのしかた	 	 	 	 	 	 		2

ログインオーナー名とパスワードの設定	
コピーカウント(アカウンティング情報)の表示3-6

第4章	付録	4-1
こんフ	なときは	4-2
	原稿がつまったとき	. 4-2
	エラーが発生したとき	. 4-2
お手が	入れ	4-4
	原稿台ガラスと原稿パッド	. 4-4
仕様		4-5
アフィ	ターサービスについて	4-7

第1章 スキャナの基本

ここでは、スキャナを使うときに知っておいていただきたい各部の名称や操作、 読み取り可能な用紙について説明しています。



各部の名称



(1)	原稿台ガラス	左上の矢印の位置に合わせて、原稿を下向きにセットします。
(2)	電源スイッチ	スキャナの電源を ON/OFF します。
(3)	電源ランプ	電源を入れると緑色に点滅します(準備状態)。点灯に切り替わっ たらスキャナが使用できます。エラーが発生すると、赤色に点灯 します。
(4)	オートフィーダー	最大約 100 枚までの原稿を自動で送ることができます。
(5)	原稿ストッパー	読み取った原稿を受け止めます。
(6)	原稿フェンス	原稿の幅に合わせてスライドさせます。
(7)	原稿ユニットレバー	原稿がつまったときはこのレバーを上に引いて、原稿ユニットカ バーを開きます。



1

プリントの準備をする

原稿のセット

原稿をオートフィーダーや原稿台ガラスにセットする方法を説明します。

オートフィーダーにセットする場合

オートフィーダーを使用すると、最大約100枚までの原稿を連続で読み取ることができます。

1 原稿フェンスを、セットする原稿の幅 より広めに開く



2 原稿の読み取りたい面を上に向け、 セットする

オートフィーダーにセンター合わせで セットします。





3 原稿の幅に合わせて原稿フェンスの位 置を調整する



4 タッチパネルで読み取りの設定を行う 「スキャナ機能設定画面」 ☞ p.2-3

原稿台ガラスにセットする場合

原稿カバーを開いて、ガラス面に原稿を1枚セットします。

1 原稿カバーを開く



2 原稿の読み取りたい面を下に向け、ガ ラス面左上の矢印に原稿を合わせて セットする



3 原稿カバーを閉じる



4 タッチパネルで読み取りの設定を行う 「スキャナ機能設定画面」☞p.2-3

プリント用紙のセット

プリンタのトレイと給紙台では、セットできる用紙の種類が異なります。 プリンタでは用紙の種類ごとにカラープロファイルを用意していますので、各トレイにセットする 用紙の種類と、プリンタのメニュー設定で行う各トレイの用紙設定を同じにしてください。

🗠 封筒にプリントするときは、用紙種類を「封筒」に設定してください。

プリントする用紙	用紙種類の設定	セットできるトレイ
普通紙	普通紙 HC 用紙 HC 用紙マット	給紙台 トレイ 1 トレイ 2
厚紙	厚紙 厚紙 IJ	給紙台
はがき	はがき はがき IJ	給紙台
封筒	封筒	給紙台



第2章 スキャナの機能

ここでは、スキャナでできることを説明しています。



タッチパネル画面

タッチパネルの画面構成は次のようになっています。



タッチパネルの [設定] ー [スキャナ機能環境設定] でオーナー名とパスワードを設定している場合 は、スキャナ機能設定画面の表示時にオーナー名の選択とパスワードの入力が必要です。オーナー名、 パスワードについては、スキャナの管理者に確認してください。

スキャナ機能設定画面

スキャナ機能には [メイン]、[レイアウト]、[イメージ]、[排紙] の 4 つの画面があります。タブ にタッチすると画面が切り替わります。画面内のボタンにタッチすることで、機能を設定したり、 設定画面を表示させたりできます。

スキャナで読み取ったデータはプリントするだけでなく、プリントコントローラにホールド(保存)することができます。

スキャナは使用可能で ジョブă: testiob	で す. プリンタステ	原稿の向き: 横向き 〒─タス: プリント可能	オーナー名:RISO ログアウト
*12 217	アウト イメージ	排紙	
用紙トレイ 変f	音 原稿モー 等倍 文字	- F :写真	
[] ₹=17 <i>№</i>	国定・ズーム	•	
HC HI0Gマット(売品(2005) オート	0%		4 5 6
カラーモード 読取 カラーモード [] カラー	<u>な濃度</u> 動作モ− 薄く ●	- к Ľ-	789
	標準	ピー&ホールド	(*) (C)
	æ< ○木	:-,ル F	<u>Jty</u>
	> j [*] 17 [*] 7 [‡] - j [*] †	=	09/05/15:24

[メイン] タブ

カラーと白黒の切り替え、用紙の種類の指定、動作モードなどを設定できます。 「[メイン] タブ」☞p.2-4

[レイアウトタブ

両面印刷や面付け方法を設定できます。 「[レイアウト] タブ」 @ p.2-6

[イメージ] タブ

写真などの画質を調整できます。 「[イメージ]タブ」☞p.2-8

[排紙] タブ

仕分けやプリント単位、確認プリントが設定できます。フィニッシャー(オプション)接続時は、 フィニッシャー機能が設定できます。 「[排紙] タブ」 ☞p.2-10



🖌 各設定項目の詳細は、タッチパネルのヘルプを参照してください。

カラーと白黒の切り替え、用紙の種類の指定、動作モードなどを設定できます。



設定項目	内容	設定内容
用紙トレイ	プリンタの用紙トレイをオート選択するか、マニュア ルで設定するかを選択します。現在の設定内容がボタ ンの下に表示されます。	オート(初期設定) マニュアル
変倍	原稿を拡大、または縮小して読み込みます。現在の設 定内容がボタンの下に表示されます。	等倍(初期設定) 固定・ズーム
原稿モード	原稿を読み取るときのモードを選択します。選択した モードに応じて最適なカラーマネージメントが行われ ます。	文字写真(初期設定) 文字 写真
カラーモード	カラーと白黒のどちらでプリントするかを選択します。 カラーでプリントするには、原稿がカラーである必要 があります。	カラー(初期設定) 白黒
読取濃度	原稿を読み取るときの濃度を設定します。	薄く 標準(初期設定) 濃く
動作モード	原稿を読み取った後に、コピーするかホールドするか を選択します。[コピー&ホールド] または [ホール ド] を選択すると、「ホールド設定画面」が表示されま す。ここで設定した暗証番号は、[ジョブマネー ジャー] の [スキャンホールド] タブでデータを呼び 出すときに入力が必要になります。	コピー(初期設定) コピー&ホールド ホールド

読み取る原稿の種類と画像設定

読み取る原稿の種類によって、最適なスキャナの原稿モードや画像設定が異なります。原稿に応 じた最適な原稿モードと画像設定で読み取りを行ってください。

読み取る原稿の種類	原稿モード	画像設定
手書き原稿	文字	[ガンマ調整] のコントラストが高めに設定し てあります。 [イメージ] タブの [画像詳細設定] で [エッ ジ強調] を強くすると、文字の輪郭がよりハッ キリします。
写真原稿	写真	[イメージ] タブの [画像詳細設定] で [モア レ除去] を設定するとモアレが発生しにくくな ります。 写真に網点をかけたい場合は、[イメージ] タ ブの [スクリーニング] で設定します。
カラーコピーや新聞、または 当社製 HC シリーズやリソグ ラフでプリントした原稿	文字	[イメージ] タブの [画像詳細設定] - [下地 カット] で、原稿の下地の色がプリントされな いように設定できます。
パンフレットなどの切り抜き 原稿	文字 / 写真	[イメージ] タブの [画像詳細設定] – [文字 識別] で、▼を左にずらすと輪郭がハッキリし た文字だけを文字として認識します。右にずら すと、写真のように輪郭が曖昧なものでも文字 として認識して処理します。
切り貼り原稿	文字	[イメージ] タブの [ガンマ調整] でレッド / グリーン/ブルーについて調整してから、シア ン / マゼンタ/イエロー / ブラックを調整しま す。

[レイアウト] タブ

両面印刷や面付け方法を設定できます。

レイアウト	イメージ	排紙
▲ ● 面付け		₹ _
	初期	植登録
	レイアウト	レイアウト イメージ

設定項目	内容	設定内容
両面	両面印刷のしかたを設定できます。	
原稿 -> 出力	片面 / 両面の原稿を、片面 / 両面にプリントします。	片面 -> 片面 片面 -> 片面 面 -> 片面 面 -> 片面
原稿	両面原稿を読み取る場合に、原稿が左右開きか上下 開きかを指定します。	両面左右開き 両面上下開き
両面印刷	両面印刷する場合に、とじ位置を設定します。	長辺とじ 短辺とじ
原稿セット向き	オートフィーダーや原稿台にセットする原稿の向き を設定します。	縦向き 横向き
面付け	1 枚の用紙に複数ページをプリントすることができ ます。	
処理	面付けの種類を選択します。	OFF(初期設定) 連写 N アップ
面数	1 枚の用紙に面付けするページ数を選択します。	2 ページ / 面 4 ページ / 面 8 ページ / 面

配置順	[N アップ] を選択している場合に、ページの横方向 の配置順を設定します。	左から右 右から左
ページ順	[N アップ] を 選択している場合に、ページを縦横ど ちらの方向で配置するかを設定します。	縦 横
原稿セット向き	オートフィーダーや原稿台にセットする原稿の向き を設定します。	縦向き 横向き
小冊子	連続する複数のページを、両面印刷後に中とじすれ ば小冊子になるように面付けしてプリントします。 小冊子として加工するための設定をします。	
処理	作成する小冊子の種類を選択します。フィニッ シャー(オプション)を接続している場合は、[2つ 折り]、[2つ折り+ステープル] が選択できます。	面付けのみ 2 つ折り 2 つ折り+ステー プル
原稿	小冊子にする原稿の種類を選択します。	片面 両面左右開き 両面上下開き
配置順	小冊子にしたときに、ページを右開きにするか左開 きにするかを選択します。	左から右 右から左
分冊処理	16 枚 (61 ページ) 以上の書類を小冊子にする場合 は、分冊処理が必要です。[自動] を選択すると、[2 つ折り+ステープル] を選択している場合は 15 枚 (60 ページ) ごとに、[ステープル] を選択している 場合は5枚(20 ページ) ごとに、印刷物を2つ折 りにします。	OFF 自動 枚数指定
原稿セット向き	オートフィーダーや原稿台にセットする原稿の向き を設定します。	縦向き 横向き
中とじしろ	小冊子を作成して2つ折りにした場合に、折り部分 の印字が見えにくくなるのを防ぐために、用紙の中 央に中とじしろをつけることができます。用紙の中 央部から距離を設定します。 [自動縮小]にタッチすると、とじしろ幅を設けるこ とでプリント面が用紙に入りきらない場合に、用紙 に収まるように自動で縮小します。	0 ~ 50mm
原稿セット向き	オートフィーダーや原稿台にセットする原稿の向き を設定します。	縦向き 横向き
初期値登録	スキャナ機能画面を起動した時の初期値を登録しま す。登録する状態を選択し、[確定]ボタンにタッチ してください。	現在値を登録 工場出荷値に戻す 変更しない

2

[イメージ] タブ

写真など画像素材のプリント画質を調整します。

メイン	レイアウト	イメージ	排紙
画像品質	ス クリーニン	グ 」 画	像詳細設定
ガンマ調整			
		_	
		初	期値登録

設定項目	内容	設定内容
画像品質	画像の品質(解像度)を設定します。	標準(初期設定) 高精細
スクリーニング	ハーフトーンの処理方法を選択できます。[メイン] タブの[原稿モード]が[文字]に設定されている ときは、[網点] は選択できません。	誤差拡散 (初期設 定) 網点 70 線 網点 100 線
画像詳細設定	文字識別、エッジ強調、モアレ除去、下地カットの 4種類の設定値をそれぞれ7段階で変更できます。	
文字識別	原稿を読み取るときの文字部分と写真部分の領域を 分けるために、文字らしい部分と写真らしい部分の どこまでを「文字」として認識するかを設定します。 数値が小さくなるほど、文字部分だけを「文字」と して認識します。数値が大きくなると、写真っぽく ても文字として認識します。	
エッジ強調	「文字」と認識された部分のエッジを強調するための フィルタ処理を行います。 数値が小さくなるほど弱く、数値が大きくなるほど 強い処理を行います。	
モアレ除去	「写真」と認識された部分にモアレを除去するフィル タ処理を行います。 数値が小さくなるほど弱く、数値が大きくなるほど 強い処理を行います。	

下地カット	原稿の下地色がプリントされないように、下地色の カットする量を設定します。 数値が小さくなるほど量は少なく(下地は除去され にくい)、数値が大きくなるほどカット量が多くなり ます。	
オート	原稿モード、カラーモード、スクリーニングの設定 に従って、自動で設定値を決定します。	
ガンマ調整	レッド、グリーン、ブルー、シアン、マゼンタ、イ エロー、ブラックの各7色のガンマ値を、7段階で 調節できます。数値が小さければその色が弱くなり、 大きければその色が強くなります。	
初期値登録	スキャナ機能画面を起動した時の初期値を登録しま す。登録する状態を選択し、[確定]ボタンにタッチ してください。	現在値を登録 工場出荷値に戻す 変更しない

ガンマ調整と画像詳細設定

ガンマ調整で、写真などの色のバランスを調整できます。。 文字のエッジを強調することで、文字と背景の境界がよりハッキリします。



仕分けやプリント単位などを設定します。フィニッシャー(オプション)接続時は、フィニッシャー機能が設定できます。



設定項目	内容	設定内容
仕分け	仕分け用紙を差し込むタイミングを設定します。複 数プリント時に、ジョブごと、または部数やページ 区切りごとに仕分け用紙を挿入します。	OFF(初期設定) ジョブごと 区切りごと
電子ソート	「ページ単位」でプリントするか「部単位」でプリン トするかを設定します。ボタンが「選択状態」のと きは「部単位」で、ボタンが「非選択状態」のとき は「ページ単位」でプリントされます。	
確認プリント	ページ数や枚数の多い原稿をプリントする場合に、 指定枚数以外に最初に1ページまたは1部だけプリ ントして、仕上がりを確認できます。確認後、問題 が無ければプリンタ側のプリント/一時停止キーを 押してプリントを開始します。 [電子ソート]を[部単位]にしている場合は、1部 プリント後に実行されます。[ページ単位]に設定し ている場合は、ページごとに確認プリントが実行さ れます。	
初期値登録	スキャナ機能画面を起動した時の初期値を登録しま す。登録する状態を選択し、[確定]ボタンにタッチ してください。	現在値を登録 工場出荷値に戻す 変更しない
排紙先(*)	印刷物を排出するトレイおよびオフセット排紙をす るかどうかを選択します。	

排紙トレイ	原稿を排出するトレイを選択します。 プリント枚数が 500 枚以上の場合は、スタックトレ イを選択します。	オート(初期設 定) スタックトレイ
オフセット排紙	スタックトレイに排紙する場合に、部単位ごとに位 置をずらして排紙する「オフセット排紙」を行うかど うかを設定します。	OFF(初期設定) ON
表紙付け(*)	おもて表紙やうら表紙を本文に付加するための設定 です。「表紙トレイ」は、フィニッシャー上部の左側 にあるトレイのことです。「仕分けトレイ」は、プリ ンタ本体の用紙トレイのことです。	
おもて表紙	おもて表紙をセットしたトレイを設定します。原稿 の先頭ページの前に差し込まれます。	なし 表紙トレイ 仕分けトレイ
うら表紙	うら表紙をセットしたトレイを設定します。原稿の 最終ページの後ろに差し込まれます。	なし 表紙トレイ 仕分けトレイ
原稿セット向き	オートフィーダーや原稿台にセットする原稿の向き を設定します。	縦向き 横向き
小冊子(*)	連続する複数のページを、両面印刷後に中とじすれ ば小冊子になるように面付けしてプリントします。 小冊子として加工するための設定をします。	
処理	作成する小冊子の種類を選択します。フィニッ シャー(オプション)を接続している場合は、[2つ 折り]、[2つ折り+ステープル] が選択できます。	面付けのみ 2 つ折り 2 つ折り+ステー プル
原稿	小冊子にする原稿の種類を選択します。	片面 両面左右開き 両面上下開き
配置順	小冊子にしたときに、ページを右開きにするか左開 きにするかを選択します。	左から右 右から左
分冊処理	16 枚 (61 ページ) 以上の書類を小冊子にする場合 は、分冊処理が必要です。[自動] を選択すると、[2 つ折り+ステープル] を選択している場合は 15 枚 (60 ページ) ごとに、[ステープル] を選択している 場合は5枚(20 ページ)ごとに、印刷物を2つ折 りにします。	OFF 自動 枚数指定
原稿セット向き	オートフィーダーや原稿台にセットする原稿の向き を設定します。	縦向き 横向き
中とじしろ	小冊子を作成して2つ折りにした場合に、折り部分 の印字が見えにくくなるのを防ぐために、用紙の中 央に中とじしろをつけることができます。用紙の中 央部から距離を設定します。 [自動縮小]にタッチすると、とじしろ幅を設けるこ とでプリント面が用紙に入りきらない場合に、用紙 に収まるように自動で縮小します。	0 ~ 50mm

2

ステープル / パンチ (*)	用紙の任意の位置をステープルで止めたり、パンチ 穴を開けます。	
とじ位置	印刷物のどの位置にステープルまたはパンチするか を選択します。	なし 左 右 上
ステープル	ステープルの位置を選択します。	OFF 左 1 箇所 右 1 箇所 2 箇所
パンチ	パンチ穴の種類を選択します。	OFF 2 穴 4 穴
とじしろ	印字した部分にステープル針やパンチ穴がかからな いようにとじしるをつけることができます。用紙の 端からの間隔を設定します。 [自動縮小]にタッチすると、とじしろ幅を設けるこ とでプリント面が用紙に入りきらない場合に、用紙 に収まるように自動で縮小します。	0 ~ 50mm
原稿セット向き	オートフィーダーや原稿台にセットする原稿の向き を設定します。	縦向き 横向き
紙折り(*)	用紙を2つ折り、3つ折り、Z折りにして排紙しま す。	
処理	紙折りの種類を選択します。	OFF 外3つ折り 内3つ折り Z折り 2つ折り
折り方向	[2 つ折り]、[内 3 つ折り]、[外 3 つ折り] を選択し ている場合に、プリント面を内側にして折るか外側 にして折るかを選択します。	内側に印字 外側に印字
とじ方向	[Z 折り] を選択している場合に、用紙の左でとじる か右でとじるか選択できます。左とじを選択した場 合は、右半面を Z 折りにします。右とじを選択した 場合は、左半面を Z 折りにします。	左とじ 右とじ
原稿サイズ混在	[Z 折り] を選択している場合に、Z 折りした用紙と Z 折りしていない用紙を混ぜて出力できます。	
原稿セット向き	オートフィーダーや原稿台にセットする原稿の向き を設定します。	縦向き 横向き

*の付いた項目は、フィニッシャー(オプション)接続時にだけ表示されます。

モニタリング画面

プリンタの現在の動作状況や、トレイにセットされている用紙の情報、インクや用紙の残量の確認 が行えます。



[ステータス] タブ

現在のプリンタの動作状態と消耗品の状態が、アイコンとメッセージで表示されます。

[詳細情報] タブ

プリントコントローラとプリンタの設定内容が確認できます。

[残量表示] タブ

プリンタの状態、用紙の情報、消耗品の残量が表示されます。

ジョブマネージャー画面

この画面では、以下のことが可能です。

- ・ジョブの処理状況の確認
- ・スキャナ機能設定の [メイン] タブー [動作モード] で [コピー&ホールド] または [ホール ド] したデータのプリント
- パソコンからの出力時にプリントコントローラに保存したアーカイブデータやホールドデータの プリント

ジョブ名	状態	オーナー名	部数	受付日時
····	正常終了	RISO		1 2005-08-12 11:01:26.664
Microsoft wordーカタログ.doc	中断終了	RISO		1 2005-08-12 11:00:16.133
SCAN0001	エラー終了	SCAN		2005-08-12 10:59:35.944

[ジョブ処理状況] タブ

プリンタが処理しているジョブの情報が表示されます。

[アーカイブ] タブ

パソコンからの出力時に[アーカイブ]を選択すると、出力したデータはここに保存されます。 RIP 展開して保存されているアーカイブデータを確認したり、プリントできます。

- コントローラの種類によっては表示されません。

[ホールド] タブ

パソコンからの出力時に [ホールド] を選択すると、出力したデータはここに保存されます。 保存されているホールドデータを確認したり、プリントできます。

[スキャンホールド] タブ

スキャナ機能設定の[メイン]タブー[動作モード]で[コピー&ホールド]または[ホールド] を選択した場合に、スキャナで読み取ったデータがここに保存されます。保存したデータを確認し たり、プリントできます。

その他の画面

設定画面

スキャナとタッチパネルの環境設定を行います。 タッチパネルのキャリブレーションやログオン時のパスワード、スキャナ機能を使用するかどう かなどを設定できます。 詳しくは、タッチパネルのヘルプをご覧ください。

ヘルプ画面

スキャナ機能の各設定項目について説明しています。

WEB 画面

専用 WEB ページにアクセスします。インクや用紙などをご発注いただけます。



第3章 スキャナの操作

スキャナを使ってコピーをする方法を説明しています。



コピーのしかた

1 タッチパネルの [スキャン] ボタンに タッチする



オーナー名やパスワードを設定している 場合は、オーナー名を選択して、パス ワードを入力します。

SCAN	USER8		
USER1	USER9	1	
USER2		,	
USER3			
USER4			
USER5			
USER6			
USER7			

ログイン	ログイン: パスワード入力												
パスワード	を入力し	.てくた	ວເບ										
オーナー	名:		SCAN					洸1	R	1			
パスワー	ド入力:			_		_				J			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0		~	BS	
	q		θ	r	t	У	U	-1	0	р			
	а	s	d	f	g	h	j	k	1				
	z	ж	c	v	b	n	п			1			
										CapsLoc	k	消去	
							確定						
TOP		4	ミニタリ	ング		ジョブ	マネージ	2×					

2 スキャナに原稿をセットする オートフィーダーまたは原稿台ガラスに 原稿をセットします。





> [メイン] タブの [動作モード] が [コ ピー] になっていることを確認してくだ さい。



- 4 タッチパネルのテンキーでコピー枚数を 指定する
- 5 タッチパネルの [スタート] ボタンに タッチする

ログインオーナー名とパスワードの設定

スキャナの設定時にオーナー名を選択したりパスワードを入力することで、使用するユーザーを 限定することができます。 スキャナ機能設定画面が表示されるまでのながれは、管理者によるセキュリティ設定の内容に よって異なります。

設定のしかた

オーナー名とパスワードは以下の手順で設定できます。

この設定は、管理者の方だけが行ってください。

1 タッチパネルの [設定] ボタンにタッ チする







「スキャナ機能環境設定」画面が表示 されます。

- 3 [オーナー名指定機能を使用する] に タッチしてチェックマークを付ける
- 4 オーナー名の選択時にパスワードも入 力させる場合は、[パスワードを設定 する] にタッチしてチェックマークを 付ける
- 5 [登録・編集画面] ボタンにタッチする

スキ	スキャナ機能環境設定													
	 ✓ 入土キナ目線を使用する ✓ 入土キナ目線を使用する ✓ 人キャナ目線の利期回辺を登録する ✓ 方面ステーブルを建成感を使用する ✓ オーナーを指定構成を使用する (ゴノワードを設定する (ゴノワードを設定する (ゴロクアウド時間) (当け・福田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田													
Γ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0		~	BS	
-		q	w	θ	r	t	у	U	i	0	р			
		а	s	d	f	g	ħ	j	k	Т				
		z	×	с	v	b	n	в			1			
	CapsLock 消去													
	キャンセル 花定													

「オーナー名登録・編集画面が表示さ れます。

3-3

3

6 [追加] ボタンにタッチする

SCAN				G	38.10
USER1					AE1/A
USER2					編集
USER3					削除
USERA					
USER5					上へ移動
USER6					
USER7					下へ移動
USERS					
USER9					

「オーナー名登録・追加」画面が表示 されます。 既存のオーナー名やパスワードを変更 したい場合は、変更したいオーナー名 のボタンにタッチしてから[編集]ボ タンにタッチします。

7 オーナー名とパスワードを入力し、 [確定] ボタンにタッチする

入力したい項目の[入力]ボタンに タッチして、画面上のキーボードで入 力します。

オーナー名登録 追加															
7-	オーナー名:								人力 USERIO						
パフ	マート	変更:													
	旧パ)	スワード					λ	<i>.h</i>	*****						
	新パ:	スワード						カ	*****				_		
	新パ;	スワード	確認人:	h:				力	*****						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0		~	BS		
		q	-	6	r	t	у	u	i	0	р				
		a	s	d	f	g	h	j	k	1					
		z	×	с	v	b	n				/				
										1	CapsLoc	k	消去		
						+	ャンセノ	ıı (磷淀						
						_		-		_					

「オーナー名登録・編集画面」に戻り ます。 8 [確定] ボタンにタッチする



「スキャナ機能環境設定」画面に戻り ます。

9 [確定] ボタンにタッチする

	- ヤ ナ スキ スキ 片面:	機能 * ナ 様 様 * ナ 様 様 * ナ 様 様	蒙境部 (を使用) :の初期: :ルを速	する 設定を登 変優先で	「録する *処理す	5								
~	✓ オーナー名指定機能を使用する 登録・編集商面													
	 ✓ パスワードを設定する 自動ログアウト時間 入力 									ᆉ				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0		~	BS	
		q	u	6	r	t	у	U	i	0	р			
		a	5	d	f	g	h	j	k	1				
		z	к	с	v	b	п	п			1			
											CapsLoc	k	消去	
						+	ャンセノ	v	確定	:)			

以上でオーナー名とパスワードの設定 は完了です。 オーナー名が登録されているか、そのオーナー名にパスワードが設定されているかによって、ス キャナ設定画面の表示手順が異なります。



コピーカウント(アカウンティング情報)の表示

プリンタが処理したジョブの履歴情報を確認できます。履歴情報は、ファイルとしてパソコンに 保存することもできます。 ☞「HC5500 ユーザーズマニュアル コンソール編」

- パソコンで、RISO コンソールの「モ ニタリング」画面を表示させる
- 2 [ユーザー設定] ボタンをクリックする



3 [アカウンティング情報] ボタンをク リックする





アカウンティング情報 一覧

ジョブ	オーナー名	データ受信日期	データ展開時間	ブリント時間	総ページ数	ブリント部数	終了状態	
Microsoft Word - E	User1	2005/08/18 14	00:00:01	00:00:14	1	15	正常結了	•
Microsoft Word - E	User2	2005/08/18 13	00:00:01	00:00:15	1	15	正常終了	
Microsoft Word - E	User 15	2005/08/18 10	00:00:01	00:00:15	1	15	正常終了	
SCAN0005	User1	2005/08/18 09	00:00:02	00:00:17	1	1	正常終了	
フル ページ FAX ラ	User6	2005/08/18 09	00:00:01	00:01:00	1	1	エラー新了	
SCAN004	User 6	2005/08/18 09	00:00:01	00.01.06	1	1	正常結了	
SCAN0003	User7	2005/08/18 08	00:00:02	00:00:20	1	1	正常終了	
マニュアルpdf	User8	2005/08/18 08	00:00:03	00.02.38	48	1	正常終了	
Microsoft Word - 1	User1	2005/08/17 17	00:00:03	00:00:45	16	1	正常終了	
Microsoft Word - 1	User 10	2005/08/17 17	00:00:03	00:00:48	16	1	正常終了	
SCAN0002	User 11	2005/08/17 17	00:00:02	00:00:18	1	1	正常終了	
SCAN0001	User 12	2005/08/17 15	00:00:01	00:00:18	1	1	正常結了	
マニュアルpdf	User13	2005/08/17 15	00:01:01	00:00:56	50	1	正常終了	
Microsoft Word	User 12	2005/08/17 15	00:00:02	00:00:24	8	1	正常終了	
Microsoft Word - P	User3	2005/08/17 15	00:00:01	00:00:20	1	1	正常終了	
Microsoft Word - P	User 16	2005/08/17 15	00:00:03	00:00:19	2	1	正常終了	
Microsoft Word - P	User 17	2005/08/17 15	00:00:01	00:00:18	1	1	中新終7	
Microsoft Word - P	User 18	2005/08/12 14	00:00:02	00:00:34	8	1	正常終了	Н
Microsoft Word - P	User 12	2005/08/1213	00:00:04	00:00:19	1	1	正常終了	•
ファイルに保存	2	消去				ATTEN 1	罗 新	

第4章 付録

スキャナ内に原稿がつまったときやエラーが発生したときの対処方法、日常の お手入れについて説明しています。



こんなときは

原稿がつまったとき

1 原稿ユニットレバーを上に引き、原稿 ユニットカバーを開ける



2 原稿解除ダイヤルを回し、つまった原稿を取り除く



エラーが発生したとき

状況	原因と対処方法
タッチパネルの電源スイッチを ON にしても、画面に何も表示 されない	 タッチパネルの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているか確認してください。 タッチパネルとプリンタが正しく接続されているか確認してください。 プリンタ本体とタッチパネルの電源スイッチが ON になっているか確認してください。
 ・ 画像がぼけている ・ 画像の細かい部分がつぶれている ・ 画像がゆがんでいる 	画像の読み取り中にスキャナに振動を与えていませんか? スキャナに振動を与えないようにして読み取り直してくださ い。
点がいくつかプリントされるだ けで、正しい画像としてプリン トされない	<u>原稿はセットしましたか?</u> オートフィーダーや原稿台ガラスに原稿をセットしてください。 <u>原稿は正しい面をセットしていますか?</u> 原稿台ガラスに原稿をセットするときは、読み取りたい面を 下に向けてください。 オートフィーダーに原稿をセットするときは、読み取りたい 面を上に向けてください。
原稿の裏面が映ってしまう	紙厚が薄い原稿の場合、裏面や重ねてある原稿の画像が映り 込んでしまう場合があります。原稿の裏面に黒い用紙などを 敷いて読み取ってください。 また、新聞紙や雑誌などを読み取るときは、[画像詳細設定] の[下地カット]で調整してください。

状況	原因と対処方法
モアレが発生する	スクリーン処理された印刷物は、モアレ(網目状の陰影)が 発生しやすくなります。[画像詳細設定]の[モアレ除去] を設定することでモアレを緩和することができます。
画像にムラや斑点が出る	<u>原稿台ガラスが汚れていませんか?</u> 原稿をセットする前に、ガラス面をきれいにしてください。
	<u>原稿カバーを強く抑えた状態で読み込んでいませんか?</u> 原稿カバーを強く抑えて読み込むと原稿台のガラス面に原稿 が張り付き、ムラや斑点の原因になります。
プリントされた色が原稿の色と 異なる	<u>原稿モードは正しくセットされていますか?</u> 原稿の種類や用途に応じて[ガンマ調整]の設定や[画像詳 細設定]の設定を行ってください。
	トレイ(または給紙台)にセットした用紙の用紙種類が正し く設定されていますか? プリンタ本体のメニュー設定の[用紙種類]で、正しい用紙 種類を選択してください。
文字原稿がきれいにプリントで きない	<u>原稿が斜めにセットされていませんか?</u> 原稿が斜めになっていると、文字の認識率が低下します。原 稿をまっすぐにセットしてください。原稿台ガラスに原稿を セットするときは、原稿カバーを閉じるときに原稿が動かな いよう注意して、ゆっくり閉じてください。
	<u>原稿の文字はきれいですか?</u> 原稿の文字の状態によっても文字の認識率が変わります。 次のような原稿の場合は、文字の認識率が低下します。
	 ・何度もコピーした原稿 ・FAX で受信した原稿 ・文字間や行間が狭い原稿 ・文字に罫線や下線が重なっている原稿 ・フォントサイズが 5pt 以下の原稿 ・折り目、しわのある原稿
	・本の綴じ込み部分

お手入れ

オートフィーダーのホワイトローラーや原稿台ガラスにほこりやゴミ、インク、修正液などが付着 すると、プリントが汚れたりかすれたりすることがあります。 定期的なお手入れをお薦めします。

◆書に記載されている作業以外は行わないでください。本機の調整や修理は、必ずお買い上 げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)に依頼してください。

原稿台ガラスと原稿パッド

原稿台ガラスと原稿パッドが汚れているときは、理想ステージクリーナーで数回軽く拭いてくだ さい。



原稿台ガラスは傷つきやすいので、絶対に固い物で傷つけたり、衝撃を与えたりしないで
 ください。

形式	卓上型オートフィーダー付きカラーイメージスキャナー							
スキャニングモード	カラー、モノクロ							
最大読取範囲	303mm × 432mm							
光学解像度	600dpi							
原稿交換速度	ページ読取速度:20ppm 以上							
1 枚目プリント時間	20 秒以下							
読取速度	66.144ms/sec(標準)							
AD 変換	8ビット							
イメージセンサ	CCD							
光源	白色キセノンランプ							
色分解方式	RGB カラーセンサ							
出力モード	文字、文字写真、	写真						
	標準、高精細							
機能	変倍、動作モード(コピー、コピー&ホールド、ホールド)、 両面印刷、面付け(連写、Nアップ、小冊子)、 フィニッシャー(オプション)機能、スクリーニング(誤差拡散、網 点)、ガンマ調整、文字認識、エッジ強調、モアレ除去、 下地カット、初期値登録、仕分け、電子ソート、確認プリント							
オートフィーダー	型式	原稿移動型(スイッチバック方式により両面読取可能)						
	原稿サイズ	表面:ハガキ縦〜 A3/Ledger 裏面:182mm × 128mm 〜 A3/Ledger						
	用紙紙質	$52 \sim 128 g/m^2$						
	原稿積載枚数 B4 サイズ未満	80g/m ² 以下:100 枚以下 81g/m ² 以上:積載高さ 15mm 以下						
	原稿積載枚数 B4 サイズ以上	80g/m ² 以下:60 枚以下 81g/m ² 以上:積載高さ 9mm 以下						
稼働音	68dB以下							
電源	AC100 - 127\	/~200 - 240V~, 50/60Hz						
消費電力	100V系:100V	V以下 200V系:120W以下						
質量	約 27kg							
寸法	642mm (W) >	642mm (W) × 551mm (D) × 247.5mm (H)						

4

●付属品

・インターフェースケーブル 1本

1本

- ・AC ケーブル
- ・保証書
- ・設置手順書

アフターサービスについて

この製品には保証書を別途添付しています。保証書の記載内容をご確認いただいた上、大切に保管 してください。保証期間中の修理の場合は、必ず保証書をご提示ください。

保証期間

商品購入日より 6 か月以内、またはトータルカウントが 50 万カウント(50 万枚)に早期に達 した場合

* 保証期間中の修理の場合は、必ず保証書をご提示ください。期間中において本書に従った正常 な使用状態で故障した場合には、保証書に記載されている保証規定に則り無償修理をいたしま す。

有償修理

保証期間を過ぎた場合は有償となります。また、以下の場合は保証期間内であっても有償となり ますので、ご了承ください。

- ・保証書の提示がない場合
- ・保証書の所定事項の無記入、または記載内容が書き換えられている場合
- 本機取扱説明書に従った正常な使用が行われていない場合の故障や損傷
- ・当社認定の ORPHIS テクニカルスタッフ以外の者による修理に起因した故障
- ・当社が推奨した推奨消耗品や推奨部品以外の消耗品や部品の使用に起因した故障や損傷
- ・有償部品の交換
- ・お客様による輸送、移動による落下および衝撃に起因する故障や損傷
- ・火災、地震、風水害、落雷その他の天災事変、公害、異常電圧等に起因する故障や損傷

有償部品

- ・ピックアップローラー
- ・給紙ローラー
- ・分離ローラー
- ・搬送ローラー

修理不能の場合

天災または強度の衝撃その他で破損がひどく、正常の性能に復元できない場合および部品の入手 が困難な場合など、修理ができない場合があります。その際は、お買い上げの販売会社(あるい は、保守・サービス会社)にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)は、本製品の製造終了後、最低 7 年間 保有しています。

修理ご依頼に際しての注意事項

- ●本機では、当社の定める研修を受講し、ORPHIS テクニカルスタッフと認定された者がメンテ ナンスを行うシステムを採用しております。修理を依頼される際には必ず ORPHIS テクニカ ルスタッフ認定証の提示を求め、該当する ORPHIS テクニカルスタッフであることをご確認 ください。また、保証規定による修理には、必ず保証書を添付してください。
- ●万一故障と思われる事態が生じた場合は、まず本書に記載されている処置(操作手順、トラブル処理、警告表示の処理、ご注意)をご確認ください。完全に処置できない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。ご連絡の際には、故障箇所、内容などをできるだけ詳しくご説明ください。
- 修理完了後は修理伝票にご捺印ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会 社)にお問い合わせください。





〒108-8385 東京都港区芝5-34-7 田町センタービル 電話(03)5441-6112 お客様相談室/ 0120-534-881 サポートセンター/ 0120-229-330 受付時間(月〜金 10:00~12:00,13:00~17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く) ホームページ http://www.riso.co.jp/

© 2005 理想科学工業株式会社